



毎年この時期になると、注連縄づくりを行っています。藁をすぐる、叩いて柔らかくする、縄をなう工程があり、皆さん慣れた手つきで次々に縄をなっていきます。利用者の皆様に生き生きと生活して頂く事こそがリハビリテーションの最大の目標です。

■ 居宅いづみインフォメーション

- ・リハビリをしたい
- ・車椅子やベッドを借りたい
- ・入浴に困っている 等

介護についてご相談を受け付けております。下記までお気軽にお電話下さい。

指定居宅介護支援事業所 いづみ

TEL 0493-57-2226

8:30~16:30 (日・祝日は除く)

清水・中小路・秋池まで

■ 1月の定例催し物

- 音楽会 【宮岡 久美子様】
1月11日(水) 10時40分 ~ 3階
- 朗読 【関根 洋子様】【高橋 政子様】
【小川 かづ江様】【木村 房子様】
【あすなる様】
1月12日(木) 13時30分 ~ 2階
1月13日(金) 15時30分 ~ 2階
1月17日(火) 15時30分 ~ 2階
1月19日(木) 10時40分 ~ 2階
1月27日(金) 15時30分 ~ 3階

■ 1月の行事予定

- 1月19日(木)
「馬場一代」様による南京玉簾の披露
2階 機能訓練室 13時30分 ~
- 1月25日(水)
「まほろば会」の皆様による琴の演奏会
2階 機能訓練室 13時30分 ~

■ ボランティア募集

当施設では各種ボランティアを募集しております。ジャンルは問いません。但し充足しているジャンルや施設の方針にそぐわない内容の場合等、必ずしもお受け出来ない事がございます。まずは下記連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。

TEL: 0493-56-6123

担当者: 鈴木 恵美子

■ 1月の趣味の教室

- 書道教室【大倉 佳子先生】
1月16日(月)
2階 13時30分 ~
- 折紙教室【田中 三枝子先生】
1月11日(水)
2階 13時30分 ~
- 詩吟教室【佐藤 譲先生】
1月18日(水)
2階 13時30分 ~
- 編物教室【梶谷 和子先生】
1月17日(火)
1月31日(火)
2階 13時30分 ~

編集後記

笑う門には福来たる。今年も沢山笑って幸福な年にしたいと思います。

編集責任者 金子 弘幸



介護老人保健施設いづみケアセンター



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873
TEL0493-56-6123 FAX0493-56-6124

いづみのホームページ <http://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>



「謹賀新年」

施設長
内田 三千則



明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

年頭に当たり、ひと言ご挨拶申し上げます。いづみケアセンターは昨年11月に開設から満19年を迎え、12月から20年目に入りました。“光陰矢の如し”と申しますが、特にこの10年を振り返りますと“瞬きの一瞬”の様な感さがあります。世の中の急激な変化に翻弄され、全力で走り続けるしか無かったからかも知れません。

3年毎に改定される介護報酬は、改定を重ねる毎に厳しさを増しております。マスコミによる「介護現場は重労働で低賃金である」とのネガティブ・キャンペーンは介護職員の離職を扇動し、介護職不足は社会問題にもなっています。我が国の老後の安心を外国人に委ねる施策も着々と法制化されつつあり、仮に安い労働力として外国人を迎え入れるのであれば、日本人の介護職員の給与水準は益々低下することでしょう。介護の世界から日本人が消えてしまう可能性も俄かに現実味を帯びてきました。また高齢者人口の増加を見越した介護施設の過剰供給とも思える乱立は、施設間の介護職員争奪合戦のみならず、利用者獲得合戦をも誘発しているのです。私達を取り巻く周囲の状況には暗澹たる思いにさせられます。しかし当施設はこの国の明るい未来を築く一翼を担うべく、皆様のご期待に応えなくてはなりません。一層の創意工夫、加えて大胆な発想と思いついた決断で邁進して参ります。

さて、年の初めに相応しい、希望の持てる話をしたいと思います。昨年9月、私の母校で現在学校長をされている日本リハビリテーション振興会理事長の宮武剛先生から伺った話です。米国の疫学研究者のデビッド・スノウド博士が「100歳の美しい脳」という報告書を纏めました。博士はアルツハイマー病の原因を探る為、ノートルダム教育修道女会に協力を求めました。年一回の心身の精密検査、保存された修道女の自伝・教育歴・成績・病歴等の全記録閲覧、更に死後の脳の解剖まで、当時75歳から106歳の修道女678人が同意してくれました。彼女たちは10代で修道院に入り、住環境も食事も医療にも差のない暮らしを生涯続けます。その中でアルツハイマー等の発生の有無が何故分かれるのか、疫学研究の絶好の対象でした。この超長期研究は「ナン・スタディー」と名付けられましたが、修道女が若い日に必ず一度は書かされる簡潔な自伝の分析の中に“最大の発見”がありました。豊かな語彙力や読解力を持つ人は長生きの傾向にあり、更に幸福、愛、希望、感謝、満足等のポジティブな感情表現が自伝に多い人ほど明確に長寿でした。その一人は103歳で逝きましたが、正常で美しい脳を保っていました。発達段階で脳の最大能力を引き出す事がその子の人生を左右すると知った博士は、親たちに幼い頃からの「読み聞かせ」を勧めています。また博士は健やかに年を取る為には「歩く事」が必要であるとも言っています。「心臓と骨だけでなく、脳も守ってくれる」からであると。今からでも手遅れではないと知り、私も今後は努めて歩くことを自身に課したいと思います。

当施設はまだまだ発展途上にあります。良いと思える事には今後もどんどんチャレンジしたいと思います。今後とも当施設への深いご理解と温かいご支援を賜ります様、心からお願い申し上げます。

施設の行事

■滑川町文化祭 11月1日(火)～3日(木)



利用者様の作品

日頃から利用者様が作られた作品を文化祭に出展しました。また2日間に亘り、秋の香りを感じながら外出をし、展示されている作品を見学しました。他の方が出展された中で、大きな掛け軸の書道、オリンピックメダリストの似顔絵の絵手紙等、とても興味深くご覧になっていました。「次はこんな作ってみたいわ」と、創作意欲満々で会場を後にしました。

■番匠一座夢ちんどん
11月26日(土)



ズンチャッチャ、ズンチャッチャ。だんだんと近づいて来るチンドンを、利用者の皆様が出迎えました。煌びやかな衣装に目を見張りながら楽しそうに歌っていました。一曲終わる毎に拍手喝采！一座は利用者様を夢の世界へ導いてくれました。

■避難訓練 12月19日(月)



当施設では、年に3回避難訓練を実施しております。今回消防隊員の派遣を依頼し、今年最後の避難訓練を行いました。火を出さない取組はもちろんの事、緊急時に速やかに避難できる様、訓練を行っています。避難完了後、スタッフによる消火訓練も行い、正しい消火器の使用方法を学びました。

居宅いづみ「第2回介護サロン」を開催しました

日頃から介護に対して不安を感じている方や、介護の事をもっと詳しく知りたいという方を対象に11月19日(土)に第2回介護サロンを開催致しました。今年2回目となりましたが、8名の方にご参加頂きました。



蓮田有莉様によるロコモーショントレーニング
(簡単にできる運動を体験して頂きました)



2トントラックにベッド、トイレ、お風呂場が設置されており、安全な使い方を体験出来ました

内容

1. 「介護をする人、される人、みんなの健康寿命を延ばそう」
講師：(株)Next 理学療法士 蓮田有莉様
2. 福祉用具について説明と体験
3. 意見交換会
4. 施設見学

入所課忘年会



今年も1年を締め括る“入所課忘年会”を行いました。第1部はいづみ劇団による「浦島太郎」を披露しました。この日の為に、稽古を積み上げて参りました。いづみ劇団の「浦島太郎」は一味違います。玉手箱を開けた太郎がお爺さんになってしまうシーンを、太郎は太郎でも「東海林太郎2え」になってしまうというオチがあり、会場は爆笑の渦に包まれました。

第2部は二人羽織を行いました。こちらも第1部に負けない程の笑いが起きました。利用者様から「これだけ笑ったから良い年が迎えらるる」等嬉しいお言葉を頂戴し、大成功の忘年会で幕を閉じました。

通所課忘年会



12月16日(金)、17日(土)に通所課忘年会を開催しました。職員の余興では「フィンガー5」の「学園天国」を踊りました。曲に合わせて利用者様も一緒に盛り上がり下さいました。

通所課ビンゴ大会



毎年恒例のビンゴ大会を12月22日(木)～28日(水)に亘り行いました。今年は例年よりも豪華(!?)な景品で盛り上がりました。ビンゴになった時の利用者様の嬉しそうな表情が印象的な会となりました。

お知らせ ～スタッフブログを開設しました～

此の度、いづみケアセンターのホームページにスタッフブログを開設しました。広報誌だけではお伝えする事が出来ない施設での取り組みや、日々の行事等、細かくお伝えしていきます。是非一度下記 URLにてご覧下さい。

<http://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

